

令和2年度 旭区運営方針自己評価 総括

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」をめざし、「安心して子育てできるまち」「やさしさあふれるまち」「活力あるまち」「安全に暮らせるまち」を柱に取り組んだ。

- ◆ 子育てについては、当区独自の取組である「あさひ子育て安心ネットワーク（あさひキッズネット）」をベースとして、新規事業である「あさひ子育て見守り事業」や「こどもサポートネット」との有機的連携を図るなど、中学卒業までのこどもの安全を見守る体制を強化した。引き続き子育て支援の充実を図っていく。
- ◆ 福祉については、令和2年4月に「旭区地域福祉計画」を策定し、区内の福祉関係機関と連携や協力を進めており、継続して取組を強化していく。
- ◆ 地域活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により、季節の行事やイベントなどが十分に展開できない中、「新たな様式」による活動として、ライブ配信による区民まつりの開催等の支援を行った。今後は地域活動の支援についてさらに積極的に取り組んでいく。
- ◆ 防災については、令和2年3月に改定した「旭区地域防災計画」に基づき、自助・共助（ご近助）の意識向上と地域ごとの防災体制の見直しに取り組んできた。引き続き防災・減災力の強化に努めていく。

解決すべき課題と今後の改善方向

- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止や延期を余儀なくされた事業について、引き続き新たな手法等を検討していく必要がある。特に、地域活動の再開について、地域の実情やニーズの把握に努め、積極的に支援を行っていく。
- ◆ 子育て・教育について、これまでの取組を継続するとともに、子どもがたくましく未来を生き抜く力をつける取組を体系的に実施する。
- ◆ 業務改善に取り組み、さらなる区民サービスの向上に努める。